

☆☆☆災害の恐ろしさと備え☆☆☆

令和6年能登半島地震、羽田空港衝突事故という、大災害と痛ましい事故が元日から立て続けに起こりました。数多の命が失われ、生活の基盤が一瞬で破壊されました。日航機の乗員乗客全員が助かり数名の軽傷者で済んだことが不幸中の幸いでした。災害は、いつどこで起こるかは本当にわからないと思いきらされました。テレビでの津波から避難するための呼びかけなど、伝え方も過去の教訓を経て変わりました。救援が来るまで、どのようにして身を守って過ごすのか、備えについても見直しと改善が今改めて求められています。



※画像はイメージ サイト『写真AC』より引用

☆☆☆こころベースにおける安否確認☆☆☆

～災害用伝言板 171 と web171～

近年、災害が甚大化する傾向にあります。その中でも具体的にいつ起こるかわからないのが地震です。万一、利用者さんが一人で施設の行き帰りの途中に災害が起こったとき、特に安否の早期確認とその後の連絡が大変重要となります。

ところが、広域で甚大な災害が起こった場合、全国から被災地への通信アクセスが集中し、通常の通信手段がパンク、ダウンしてしまうことがあります。

こころベースではこのような時に、施設職員・利用者さん・ご家族が互いに安否を確認できるよう、災害用伝言板 171 ならびに同 web171 を運用いたします。

利用者さんが一人でいる時に罹災した時でも利用できるよう施設にて定期的に訓練を行うと同時に、ご家族の皆様にも体験をお願いいたしております。

なお、伝言板 171 の体験は下記の日程で解放されますのでご関心をお持ちの方は是非一度『災害用伝言板 web171』で検索していただき、体験してみてください。

<https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/>

毎月 1 日, 15 日 00:00～24:00

正月三が日 (1 月 1 日 00:00～1 月 3 日 24:00)

防災週間 (8 月 30 日 9:00～9 月 5 日 17:00)

防災とボランティア週間 (1 月 15 日 9:00～1 月 21 日 17:00)

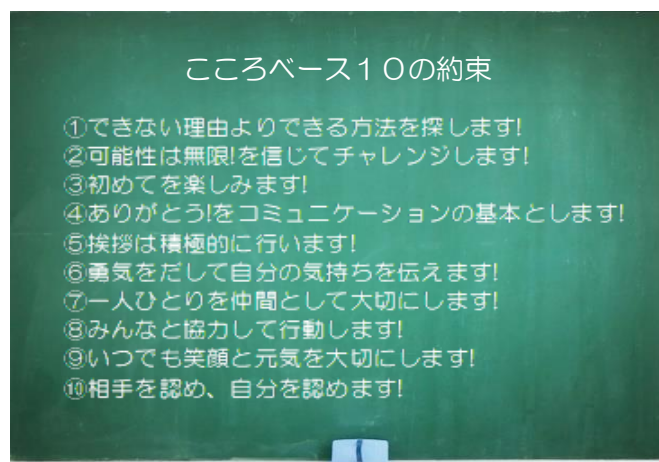


☆☆☆『こころベース 10 の約束』のおはなし ☆☆☆

本コーナーも最終回となりました。

『相手を認め、自分を認めます!』

十人十色、人はそれぞれ違います。相手の立場になって考え、尊重することによって社会性を身につけていく事が大切です。一方で自己肯定感を持たずにいると、周囲との簡易性をうまく保つことができません。相手も認め、自分も認め、お互いにとって良い状況にするために、どうすればよいか。という視点に立っていただく事を心がけていただきたいと思います。



☆☆☆歳の瀬のお餅つきと鏡割り☆☆☆

12月26日、歳時(年末)行事として、「お餅つき」を行いました。もち米を蒸籠で蒸して、杵臼を使うのが本来ですが、今回は簡易的にホームベーカリーの餅つき機能を使って餅つきを行い、成形からの作業を体験していただきました。

施設に飾る鏡餅を作った後、その場で出来立てのお餅をきな粉砂糖、しょうゆバター等、好みの味でみんな楽しく頂きました。

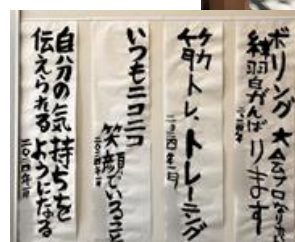
年が明けて1月19日、鏡割りをを行い、お餅を揚げ餅にしてみんなで大変くいただきました。

☆☆☆初詣と書初め☆☆☆

1月5日はこころベースの創立記念日。この記念すべき日が今年のスタートの日となりました。利用者さんと職員で施設近くの大萱神社に初詣に行っていました。

午後からは、書初めです。今年の抱負を半紙に書きみんなの前で、発表しました。

利用者さん、職員それぞれの思いが成就するよう、日々を共に大切に過ごしてまいりたいと思います。



◇◆◇編集後記◇◆◇

巻頭の記事ですが、実は昨年末に書いていたものでした。その記事の上に令和6年能登半島地震について書き加える事になるなんて、夢にも思っておりませんでした。阪神、東日本、熊本…大きな傷跡が少しずつ癒えてきてもどこかでまた起こる…。そしてさらに加えて水害などの気象災害。命を守る事に、もっと目を向ける必要が増してきたように思います。これからの『荒れる地球』と付き合うために…。

それではまた次号で。(Makky)